



平成 23 年 5 月 30 日

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(H. 22 年度)

事業名 : 子ども会館運営事業 担当課名 : 青少年課

市民活動団体名 : NPO 法人輝き・遊っ子楽っ子

評価項目		役割担当		理由	
		市民活動 団体	行政担当 課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	市：定期的に話し合いを行っていた。
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	△	△	団体：当初より対等な立場でないとの認識があるため。 市：話し合いを行ったが、施設管理面は法的な問題から変更できない。
3		事業の協定書の内容は充分であったか	△	△	団体：年度が変わっても、当初の考えに基づく大きな変更はできなかった。 市：話し合いを行ったが、施設管理面は法的な問題から変更できない。
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	×	△	団体：対等の考え方に違いがある。 市：施設管理面では法的にすべてを任せることはできない。
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	△	△	団体：会館運営ではなく、行事のみを請け負ったように誤解されている。 市：行事数は増えたが改善の余地があると考えます。
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	△	△	団体：市側と会館運営の考え方が違い全てに共有できなかった。 市：施設管理面以外は共有していたと考える。
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	話し合いを行っていた。

9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	△	×	団体：行事開催目標は達成できたものの、来館者数が増えなかった。 市：来館者数が減少した。未就学児とその保護者が気軽に来られる工夫が必要である。
1 0		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
1 1		定められた役割分担は妥当であったか	△	○	団体：運営の仕方に考え方の違いがあったが、協定書には則っていたといえる。
1 2		定められた役割分担は守られたか	○	○	
1 3		市民サービスは向上したか	○	△	市：アンケート等を実施して、評価できない。
1 4		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	△	市：来館者数が減少しているが、小学生を中心に安定的な利用がある。
1 5	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	<p>(まとめ) 団体：子ども会館の運営事業については、市側に試験的な試みという認識があり、協働事業開始より双方の考えに温度差が感じられた。近隣に2つ会館がある・少子化などのマイナス面を抱えながらも、状況を改善しつつより良い運営を目指し事業に望んでいる姿勢は、後に続く協働事業者へ少なからず影響を与える事になる。</p> <p>市：協働事業の開始当初、施設管理面で指定管理者制度との関係があり、運営や管理の大部分を任せることが出来ず、市として反省すべき点はある。子育てに関する相談が実施されていないので、今年度期待したい。また、利用者に対してアンケートを実施したい。</p>		

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）

備考：理由等は、別紙で提出しても結構です。

鎌倉市 市民活動課 市民活動推進担

電話23-3000 内線2311